

科目名	専門演習 I Seminar I							
科目担当者	柚原 知明 YUHARA Tomoaki							
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	演習	開講学期	通年	
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<p>・専門演習 I としては、経営戦略論に関連する基礎的なテキストの学習と輪読・発表の繰り返しを行います。具体的には、DX(デジタル・トランスフォーメーション)等の最先端の技術革新を活用した先鋭的な領域やグローバル経営にも触れながら、諸理論と具体的な事例の解説を行います。また、経営戦略論の礎として形成されるビジネスモデルが成果を創出した幾つかの事例を取り上げ、経営戦略論と経営組織論の相互作用に関する考察を行います。</p> <p>・企業研究視察(演習Ⅱ・Ⅲのゼミ生と合同)の実施を検討したい(実施時期・企業は未定)。</p>							
授業の到達目標	<p>①経営戦略論のベースとなるビジネスモデルに関する基礎的なテキスト輪読・発表については、スライドの作成、準備、発表を半期1回、年間2回を義務付けることとする。</p> <p>②経営戦略論のベースとなるビジネスモデルに関する基礎的なテキスト輪読・発表の繰り返しによって、主体的な学習姿勢の醸成と、深く“考える力”の習得を目標とする。</p>							
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	クラウドソーシング	2	経営戦略論の概要と歴史の変遷	17	クラウドファンディング
	3	ビジネスモデルとは何か	18	個人間取引	4	ビジネスモデルの出発点 戦略モデル	19	サービス化
	5	戦略モデルの4つの構成要素グループ	20	アズ・ア・サービス	6	戦略モデルキャンパスとは	21	稼働保証モデル
	7	[実習] ビジネスモデル分析	22	マス・カスタマイゼーション	8	ビジネスモデルの「探索」と「深化」	23	パーソナライゼーション
	9	垂直統合	24	ロングテール	10	レイヤーマスター	25	スーパーニッチ
	11	オーケストレイター	26	リバース・イノベーション	12	媒介型プラットフォーム	27	消耗品モデル
	13	基盤型プラットフォーム	28	チェリーピッキング	14	エコシステム	29	ネットワークビジネス
	15	シェアリング	30	総括				
授業外学修 (事前学修)	<p>・毎回の授業の範囲をテキスト等の熟読で予習し、理論の内容や専門用語の意味等を調べる(毎週2時間程度)。</p>							
授業外学修 (事後学修)	<p>・毎回の授業後の内容をテキストや配布されたスライド等で復習し、理論の内容や専門用語の理解を深める(毎週2時間程度)。</p>							
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法			評価比率	到達目標との対応			
	<p>・テキストの担当箇所に関して、半期1回、年間2回の発表を行う。</p> <p>・積極的な質問、提案、検討結果の発言による専門演習への貢献を行う。</p>			70%	①			
				30%	②			
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合  優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合  良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合  可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合  不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合</p>							
教科書	<p>・根来龍之・富樫佳織・足代訓史 [2020] 『ビジネスモデル』CBクリエイティブ。</p>							
参考文献	<p>・Potter, M.E. [1980] <i>Competitive Strategy</i>, Free Press. (土岐坤・中辻萬治・服部照夫訳 [1982] 『競争の戦略』ダイヤモンド社。)</p> <p>・Potter, M.E. [1985] <i>Competitive Advantage</i>, Free Press. (土岐坤・中辻萬治・小野寺武夫訳 [1985] 『競争優位の戦略』ダイヤモンド社。)</p>							
その他								